

やまなみ

広報 NO.52

生駒市人権教育推進協議会

事務局 生駒市市民部人権施策課内
Tel.0743-74-1111 (内線 3262・3263)
email:jinkenkyouiku@city.ikoma.lg.jp

発行 2023年5月26日

人権教育講座「山びこ」

人権教育講座「山びこ」は、1年に7回、さまざまな人権課題について毎回異なるテーマで講師をお招きし、開催している講座です。園や学校の保護者、市人推協の会員、民生委員・児童委員、市の職員のみなさんに受講していただいておりますが、第1回は「差別をなくす市民集会」に、第6回は「じんけんひろば」として公開講座にして、広く市民の方に参加を呼びかけています。2022年度に実施した第3回から第7回（生駒市人権教育推進協議会研究大会活動報告・記念講演）の内容を紹介します。

第3回 10月14日(金) 「今伝えたい大切なこと」～わたしと部落問題～



講師：NPO法人ヒューマン・ライツ・アドバンス・堺
(舳松人権歴史館) 米川 真以さん

2017年度に続いて、2回目の「山びこ」の講演となった米川さん。米川さんご自身の出身地で差別された実体験をお話いただきました。被差別部落に生まれ、子どもの頃はあまり意識されることはありませんでしたが、高校での自己紹介で中学校名を伝えると、周りから避けられるようになったことに大きなショックを受けられました。悲しみと孤独感に打ちのめされそうになりましたが、友人のひとりが噂で人を判断したくないと話してくれ、ご自身を取り戻されたそうです。参加者のアンケートでは、「部落差別はなくなってきたと思っていたが、そうでないわかり、ビックリした」「このような若い方が、部落差別を経験したことがあると聞いて驚いた」など、現在もなお部落差別が存在していることへの意見・感想を多くいただきました。

第4回 11月11日(金) 「自分らしくいきるとは」



講師：合同会社 ^{こより}虹縁 相談支援センターにこら (虹愛)
代表/相談専門支援員 田崎 智咲斗さん

性的マイノリティ当事者として、自分が一体何者なのか分からなかった時期を振り返りながら語っていただきました。「ステレオタイプの型にはまった考え方が偏見へとつながり、差別を生むことになる」、参加者自らがこれまでの価値観を問い直す良い機会となりました。対話型講演会では、「自分らしさとはなにか?」「多様性とはなにか?」と2回にわたり少人数での参加者同士の話し合いの場が設定されました。「人権は尊重することだと学びました」「多様性が当たり前になるように何か行動できたらと思いました」、対話型講演会については「人の意見を聞くことができて良かった」「会場に居場所ができたように感じた」など、多くの感想が寄せられました。

第5回 12月9日(金)

「新しい障害のとらえ方」～よりよい共生社会をめざして～

講師：生駒市中学校通級指導教室 高橋 順治さん



「ことばの教室」、生駒市中学校通級指導教室での長きに渡る相談実績と豊富な資料をもとに、分かりやすく丁寧にお話しいただきました。「秋桜の咲く日」をビデオ視聴し、そのポイントを振り返りながら外見だけでは分かりにくい障害について、具体的に新しい障害のとらえ方を学びました。「自分の職場に主人公のような人が来たらどのように接しようかと想像するきっかけとなった」「理解が難しくても、そこで否定するのではなく許容できるように子どもに接したいと思った」また、当事者のご家族からは、「今、子どもが前向きに頑張っているのは、先生の共感があったからです」「子どもが少し生きづらさを感じているようです。どのようにサポートしていけばよいのか、少し光が見えた気がします」などの声を聞かせていただきました。

第6回 1月25日(水)

じんけんひろば トーク&コンサート「命の参観日」

講師：シンガーソングライター 玉城 ちはるさん



ある出会いから始まった留学生支援活動「ホストマザー」。10年間に36人の支援者になって感じたことや、異文化の者同士が共に生きることの大切さと他者を理解し受け入れることの難しさの経験を通して、多文化共生についてお話しいただきました。参加者から「多文化共生についてコミュニケーションの大切さを質問やゲームを交えて楽しく勉強させていただきました。自分の思い込みに気づきを与える良い機会になりました。素敵な歌が心に響きました」「人権のお話に歌、とバラエティーに富んだ内容であつという間でした。楽しくお話が聞けました。“ありがとう、ごめんなさい、大好き”子どもたちとやってみたいと思いました」「対話の大切さ、固定観念の危うさを再認識させていただきました。やさしさ貯金ゲーム、みんなやればもっと平和になりますね」といった感想が寄せられました。

第7回 2月17日(金)

生駒市人権教育推進協議会研究大会

活動報告：生駒市介護者(家族)の会 代表 日野 紀代子さん



創設から27年間、これまでの活動の様子を具体的に語っていただきました。また、介護に必要な法令や制度などについても説明していただきました。参加者から「介護について自分の人生について、改めて考える機会をいただきました。生駒で介護者・被介護者のためにこんな活動をしてくださっている方がいることをとても心強く思いました」「介護を“自分ごと”として考える貴重な機会になりました。介護する者もされる者も人として大切にされるよう、介護の様子を語り合う活動や、気持ちをリフレッシュする活動など、互いに支え合う様々な活動をなされていることがわかりました」など、介護への思いを新たにすると感想に記されていました。

記念講演 「いのち・あい・きずな」

講師：朗読劇団「泉座」 座長 泉 浩子さん

シルバー川柳から落語、山本周五郎の作品とくすくと笑えるものから心打たれる作品まで多彩な内容の朗読を聞かせていただきました。「朗読を生で聞いたのは初めてでした。文章で読むより感情が心に響き、感動しました」「朗読劇“いのち あい きずな”一秒の言葉。いろいろなお話を吸い込まれるように聞かせていただきました」「泉座のみなさんの朗読、母の深い愛が心に沁みるようでした。また人の真心の温かさや潔さが伝わってくるものでした。力をいただけるようでした」「泉座の方の声、楽しく、時に笑い、また心に刺さったり、考えさせられたり、声の力の素晴らしさを感じました」といった参加者の声から繊細であり、力強い表現の朗読から心を揺さぶられた様子が感じられました。





2023年度 山びこ



今年度の人権教育講座「山びこ」も、各分野で活躍されている方を講師にお招きしました。
人とのかかわりや人権について考える時、きっとあなたのプラスになる講座です。



共催：生駒市・生駒市人権教育推進協議会

	開催日・会場	テーマ	講師	
第1回	7月15日(土) 13:00～15:00 たけまるホール (大ホール)	「インターネットやSNS との上手な付き合いかた」 ～子どもも大人も、 被害者にも加害者にも ならないために～	㈱情報文化総合研究所 代表取締役 武蔵野大学名誉教授 さとう よしひろ 佐藤 佳弘 さん	●東北大学卒業、富士通(株)、東京都立高校教諭、㈱NTTデータを経て、現在。著書に『インターネットと人権侵害』など。子どもを取り巻く環境や、被害の未然防止・被害時の対応など、皆さんの為になる講演会です！
第2回	9月8日(金) 10:00～11:30 たけまるホール (大ホール)	地域や社会の 大切なひとり	デイサービス「ゆんたく」 介護主任 おがわ ひでお 小川 秀雄 さん	●天理市内のデイサービスゆんたくという古民家の施設で、高齢者の生きがいや居場所作りを支援中。様々な人生を歩んで来られたお年寄りをテーマにしたお話に耳を傾けてみませんか？
第3回	10月13日(金) 10:00～11:30 たけまるホール (大ホール)	安心して自分らしく 生き直しができる 支援とは	ワネネエーショナルリテラシーセンターディレクター・松詠節 きむら ゆうや 木村 勇也 さん フラワーガーデンスタッフ あずま ともこ 東 朋子 さん	●エモーショナルリテラシー(感情を取り扱う力)を福祉施設に実装し、生き直しを応援。 ●当事者として生き直しを経て、薬物再乱用防止プログラム指導を保護観察所にて行う。 自分らしい生き直しとは？明日に繋がるお話です！
第4回	11月10日(金) 10:00～11:30 たけまるホール (大ホール)	奈良医大障害者雇用で 彼らと歩んだ10年	㈱MBTジョブレオーネ 代表取締役 おかやま ひろみ 岡山 弘美 さん	●療育教室・重症心身障害児者病院施設で勤務後、奈良県立医大なかよし保育園長を経て、同医大の配置型ジョブコーチ。障害を持つ人たちの就業率をいち早く高めた奇跡のお話。
第5回	12月8日(金) 10:00～11:30 たけまるホール (大ホール)	食べることは命を いただくこと ～狩猟と里山の暮らし～	猟師・星くらジビエ店主 おかわら えり 岡村 絵里 さん	●保健師・看護師である店主が営むジビエ専門店。現代人の健康を取り戻すカギは、地球環境・自然との調和にある。食物連鎖という観点から、害獣として処分される動物や日々の「食」をちょっと見直してみませんか。
第6回	2月29日(木) 13:30～15:00 たけまるホール (大ホール)	じんけんひろば 落語 & 講演会 女らしくなく 男らしくなく 自分らしく	落語家・天台宗僧侶 つゆ まるこ 露の団姫 さん	●落語家であり僧侶でもある「露の団姫(つゆのまるこ)」さんによる、性別にとらわれず「自分らしく生きること」をテーマとした、「笑い」を交えての講演会です。皆さんの笑顔が満開に！
第7回	3月15日(金) 13:30～16:00 たけまるホール (大ホール)	市人推協研究大会記念講演 笑顔の種を撒こう ～からだ・声・ことば～	音読療法®協会 音読トレーナー 司会 リーディングパフォーマー きくち ともみ 菊地 朋美 さん	●音読療法®協会の音読トレーナーとしても活動するリーディングパフォーマー。紙芝居や朗読、神社仏閣等での公演に出演。防災紙芝居の監修や公演を通して防災・減災について伝えていく。声で元気を届けます。

新しい「人権DVD」の紹介

パパは女子高生だった！～前田 良～

(28分)



女性から男性へ性別転換し、結婚、その後二人の子を持つ父親となった前田良さん(37)。二人の子を初めて戸籍上で実子と認めさせました。赤い服が嫌いでスカートを履くのがイヤ、女の子が好き、そして初潮に傷つく。男の子として生きたいと強く願った少女のころからの人生が語られます。

人権をテーマにしたDVDの貸し出しをしています。自分も人も大切にすること、多様性を尊重すること、人とつながりをつくることなど、様々な人権課題のDVDがあります。

自治会や各種団体の集まり、サロン、幼稚園、保育園、学校、学童保育、PTA・育友会、子ども会、同好会やサークル、ご家庭など、人数の多少にかかわらずご利用ください。

現在79本の作品をそろえています。各DVDの内容を紹介した冊子「じんけんDVD2023」も用意しています。

バースデイ

(37分)



主人公・美由紀は、娘だと思っていた笑花(尊)から自認する性が男性であることを告げられ、激しく動揺します。はじめは拒絶する美由紀ですが、周囲の人々との交流などにより、性の多様性への理解が進み、自分らしく生きようとする我が子の苦悩や願いに気づき、向き合っていくようにします。

くうとしの ～あなたがそばにいて～

(12分)



認知症の犬・しのと、介護猫・くうの、感動の実話をもとにした道徳・人権教育アニメーションです。もし、あなたの大切な人が認知症になってしまったら、あなたはその人に何をしてあげることができるでしょうか。心がホッカリとする物語です。

ここに紹介したもの以外に子ども向けの作品や様々な課題をとらえた作品がありますので、気軽にお問い合わせください。

生駒市役所人権施策課

0743-74-1111

(内線：3262・3263)

※各DVDの写真は、兵庫県人権啓発協会、東映株式会社、フルーク映像株式会社の資料です。許可を得て掲載しています。